

東京が中心と考えるようでは駄目だ 各地連・地本の抱える問題を解決していく

(関東地協 臨時総会)

2012年2月15日 関東地協が臨時総会



2月15日、山梨県甲府市で東京地連、関東地協共催の春闘討論集会に併せて臨時総会を開きました。議長には大和田正樹東京地連執行委員長、事務局長兼事務局次長に直井幸男東京地連書記長、副議長に矢野神奈川地連委員長、羽原千葉地連委員長、須澤茨城地本委員長、柏木群馬地連委員長、中村山梨地連委員長が選出されました。

大和田議長は「東京中心という考え方ではなく、各地連・地本の抱える問題を一つひとつ解決しながら、運動を進めていく」としました。臨時総会后、

東京地連と関東地協共催の春闘討論集会が開催され、2012春闘方針を直井東京地連書記長が提案し、質疑応答が行われました。

翌16日は群馬、千葉、神奈川、茨城、山梨の各地連・地本の代表者からそれぞれの近況報告があり厳しい現実が明らかになりました。茨城の須澤委員長は「どんなに頑張っても營收が上がる要素もなく、会社に最低賃金法を適用させ少しでも収入を増やそうとしても、会社が立ちいかなくなり職場を失うことになる」との心情を吐露し、会場から同調する頷きが漏れました。春闘方針は全会一致で承認され、直井書記長のまとめで「お互いに情報交換し、それぞれの知恵を出し合って精力的に運動を進めようと決意を述べ、大和田議長の団結ガンバロウで終了しました。

